

新年、明けましておめでとう
ございます。

皆さまには平成25年の輝か
しい新春を健やかに迎えられた
ことと心からお慶び申し上げま
す。

日ごろは、御前崎市政に対し
格段のご理解とご協力を賜り、
厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、8月に開
催されたロンドンオリンピック
大会に東町出身の飯塚翔太選手、
9月のパリリンピック大会に比
木原出身の岡村正広選手が、そ
れぞれ出場し、メダルまであと
一步と迫る快走で市民に元氣と
勇気を与えてくれました。

国内は、長引く円高、株安、
デフレにより、経済は低迷し、
国力が低下しております。昨年
12月の衆議院議員総選挙の結果
を受けて発足した安倍新政権の
下、外交や安全保障、経済連携
協定など、景気を回復させ国益
をどう守るかが問われる重大な
局面を迎えております。

今こそ強いリーダーシップが
求められております。苦しい時
代にこそ、若者が強いパワーで
日本を引っ張っていくことが大
事です。

若者の教育、子育て支援は、
御前崎市としても欠かすことの

できない重要施策と認識し、今
まで以上に真剣に取り組んでま
いります。

**いつまでも住み続けた
いまちにする**

地球温暖化に伴う世界的な異
常気象、市内でも風速40メート
ルを超える暴風に見舞われるな
ど、いつ何が起こるか分からな
い状況の中で、危機管理が重要
視されております。東日本大震
災の教訓を踏まえ、「安心・安全」
なまちづくりを目指して、相互
に助け合うことができる地域防
災力の向上を図ってまいります。

海岸部に住んでいる人たちが
高台に移転することができるよう
土地利用の規制緩和を国に要
望していくことも必要です。国
道150号の南側に位置する山
林などは、できる限り残すこと
に努め、自然の力で市民の生命
と財産を守っていきます。

消防署新庁舎の建設について
は、昨年、内閣府から公表され
た南海トラフ巨大地震による津
波の想定浸水域と本年6月に発
表される県の第4次被害想定を
勘案し、建物1階部分の利活用
を再度見直し、建設を進めてま
いります。

年頭のごあいさつ

御前崎市長 石原茂雄

